

第5次結城市総合計画実施計画策定及び行政評価シート

担当部署	部 局 名	教育委員会		
	課 名	学校教育課		
	係 名	庶務係		
	記 入 者	増山智一	電話(内線)	624

1. 事業の概要

(1) 事業種別 [新規又は継続]	継続		(2) 事務事業 の名称	計画 予算	小中学校図書室空調設備整備事業 学校図書室空調設備整備事業費	(3) 事業の 優先度	A
(4) 総合計画での位置づけ					(6) 事業主体	市	
① 事業の区分	一般事業		(7) 予算・ 財源等 の種別			事業の性質	普通建設事業費(ハード事業)
② 施策コード	41201	(総合計画掲載ページ 103 ページ)		会計区分		一般会計	
基本目標(政策)	4 未来を担う子どもと地域を支える市民を育むまちづくり(教育・文化)			財源区分		市単独	
基本施策	1 生きる力を育む教育環境づくり(学校教育)			予算科目		款 10 項 2・3 目 3	
施策	安心して学べる学校づくりの推進			予算書上の 事業名称		学校図書室空調設備整備事業費 (予算書 156 ページに掲載)	
施策内容	学校施設・設備の充実			(8) 事務分類			
(5) 事業期間	開始	平成 25 年 4 月から	(7) 根拠法令				
	終了	平成 27 年 3 月まで (2 カ年)					

2. 事業の目的及び内容

(1) 対象者（だれを・何を）	(3) 事業内容（具体的に何を行うのか，そのために何を行うのか）
小中学校の児童生徒	
(2) めざす姿（どのような状態にしたいのか・意図）	
図書室に空調設備(エアコン)を整備することにより，読書環境の改善を図り，もって読書活動の推進に寄与する。	
■ 事業の全体計画（※計画等がある場合，H24年度末時点で記入）	
・ 総事業費 34,000 千円 ・ 進捗率 0 % 計画ベース	
(4) 事業開始のきっかけや市民・議会の要望や意見，他市の状況など（※ 1-(8)事務分類 法定受託の場合は，記入必要なし）	
児童生徒の学習環境を改善するため，特に読書活動の推進を図る狙いから学校図書室に空調設備(エアコン)の整備を行う。	

3. 事業コスト及び改善措置

行政評価 実施計画		実績内容の評価		検討・改善		検討・改善内容を反映							
● 予算内訳		実績・決算額（千円）		予算額（千円）		計画額・見込額（千円）							
事業内容		24 年度		25 年度		26 年度		27 年度		28 年度			
(1) 事務事業費の コスト	事業費	小学校図書室空調整備		22,000									
		中学校図書室空調整備				12,000							
	合計				22,000		12,000						
	財源	国庫支出金 (千円)											
		県支出金 (千円)											
		地方債 (千円)				16,500		9,000					
		その他特定財源 (千円)											
		一般財源 (千円)				5,500		3,000					
合計 (千円)				22,000		12,000							
補助・起債制度名				市町村振興資金									

(2) 平成25年度以降の改善・改革点(※ 記入の必要なし)

4. 指標の検証（活動指標・成果指標）

指標の名称			単位	24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度
(1) 活動指標（実施した事業の内容）								
実施内容	図書室空調設備設置校	目標値	箇所		9	12		
		実績(見込) 値		0	9			
		目標値						
		実績(見込) 値						
(2) 成果指標（事業実施による施策指標の達成度）								
施策の指標	図書室利用児童生徒数	目標値	人		2,900	4,216		
		実績(見込) 値		0	2,900	4,300	4,300	4,300
		達成率		%	%			
		目標値						
		実績(見込) 値						
		達成率		%	%			

5. 事業評価

(1) 平成24年度の行政評価結果をうけて、平成24年度に取り組んだ改革改善点について記載してください。

(2) 項目別評価

評価項目		評価の指標		客観的評価点及び評価理由		
1. 目的妥当性		①事業の必要性,緊急度は高いですか？		3	どちらとも言えない	
		②行政が実施すべき事業ですか？		5	行政以外には実施できない事業である	
		③受益者が特定の個人や団体に偏っていませんか？		3	どちらとも言えない	
11	A	補足				
2. 効率性		④事業の手段（やり方）は適切ですか？		3	どちらとも言えない	
		⑤コスト効率，人員効率は高まっていますか？		3	どちらとも言えない	
6	B	補足				
3. 有効性		⑥活動指標，成果指標は達成されていますか？（指標達成度）		5	目標以上の達成度である	
		⑦事業の成果の進捗は順調ですか？（進捗度）		3	ある程度進んでいる	
		⑧事業のめざす姿は基本施策の目標達成に貢献できますか？（貢献度）		3	基本施策の効果が高まるものの，予算増等により若干効率性は低くなる	
11	A	補足				
4. 総合評価		事業全体について評価し,問題点,課題等を指摘してください。 空調設備の整備については，今後維持管理コスト検討する必要がある。				
28 / 40 [5×8項目]						
5. 対応策 ・提言等						
		平成25年度 [事業実施段階 における改善点]				
		平成26～28年度 [今後の事業見込 による改善点や 改革点]				

6. 事業の方向性判断

評価主体	25年度以降の事業の方向性	評価理由・根拠
(1) 記入者評価 記入者が評価を行う	現状のまま継続 (改善・改革なし)	注)記入者は「5. 事業評価」を記載するため，この欄は未記入で結構です。
(2) 一次評価 担当課長が評価を行う	現状のまま継続 (改善・改革なし)	維持管理コストを今後検討する必要があるが，近年の夏季の猛暑傾向を考慮し，児童生徒の学習環境及び学力向上につながる読書環境の改善のため，小中学校図書室への空調設備整備を推進する必要がある。
(3) 最終評価 企画調整会議において 評価を行う		上記評価のとおり 1. 事業概要(1)事業種別を継続とする。 計画額の財源を変更(H26一般財源の一部→地方債)とする。